



日時／平成29年11月7日(火) 14:00~15:30  
会場／ウェスティンシアターキャッスル2F「青雲の間」

地域社会貢献活動講演会

## 日本語

# すばらしい言葉の世界

杏林大学外国語学部教授  
日本語学者

金田一秀穂氏

### 言葉遣いの上手な人

「美しい日本語」はなく、相手、自分の立場、場面に「相応しい日本語」を使い分けることができる人が言葉遣いの上手な人、コミュニケーション能力の高い人です。大阪のオバちゃんのコミュニケーション能力は高いです。

相手によって使い分けるのが敬語です。「いらっしゃいました」「お召し上がりになりますか?」など、目上の人の行為に対して尊敬語を使います。自分の行為には、「申します」「いただきます」など謙譲語を使います。

日本語の敬語は難しいですね。子どもは敬語を使いません。社会に出て初めて使うようになります。

クレヨンしんちゃんはお母さんことを「おい、みさえ~」と呼びますが、しんちゃんはお父さんが大好きで尊敬しているので、お父さんの真似をしているのであって、僕は悪い言葉ではないと思います。

それに反して、『サザエさん』のタラちゃんが「行きますですう」と言うのは、おかしいです。

子どもは親の鏡です。親の影響は強いのです。タラちゃんは、自分が大きくなったら、どういう大人にならいいかわからないから「行きますですう」になってしまいます。言語学的、発達心理学的に言えば異常です。

保育園、幼稚園に行くようになると汚い言葉を使うようになりますが、相手によって言葉を使い分けているのです。

敬語は尊敬語と謙譲語が基本ですが、敬語は相手を心地よくさせることが目的です。

敬語を使うことによって自分の教養を見せる、立派な大人であると示しているのです。だから子どもが使うのはおかしいのです。自分はセレブであると言いたいがために敬語を使うと厭味になってしまいます。「いい言葉」は自分の身に合った言葉です。それが最高の言葉です。尾張弁でいいのです。背伸びした

言葉遣いはよくありません。

敬語は日本の伝統文化です。美智子皇后陛下の敬語は素晴らしいです。被災地で被災の方々に語りかけられる美智子皇后陛下のお言葉は、最も力強い大切な言葉だと思います。

では、みんなで真似をすればいいかというと、言葉を発するのが僕では、何の役には立ちません。家柄の良さ、教養の高さがあるから素晴らしいのです。相手を気持ち良くさせるには、その人にそぐう言葉をつかうことです。

毒蝮三太夫さんの言葉遣いは汚いです。「このくそババア、まだ生きてやがったかあ~」。

でも温かい雰囲気があって、聴いていてイヤな感じがしません。それは毒蝮さんの身にそぐう言葉だからです。

心地良いこと、心が通じるような言葉、その場に相応しい言葉を使われるのが敬語の良さなんです。気持ちが誠実であること、正直であることが大切なことです。





## 心のこもっていない コンビニ敬語

ところが最近変わってきました。コンビニ敬語です。

「こちらコーヒーになります」。コーヒーになる前は何だったのか？

僕は若者たちに「コーヒーです」「コーヒーでございます」と言うようにと教えますと、「コーヒーです」ではぞんざいに感じるし、また「コーヒーでございます」と言うほどのコーヒーではないから彼らはイヤだと言うのです。それは案外正しいかも知れません。

「らっしゃいませ～」も心が籠もっていないように思います。

最近は、お釣りを渡すときタッピングといって、片手はお客様の手の下から支えるようにしてお釣りを渡すそうです。

スキンシップですが、勘違いしたオヤジが、その手を握り返してくるそうです(笑)。それは怖いので、心を込めてすることはできません。そういう世の中です。

昔はコミュニティになっていましたからお店もお客様もお互いに丁寧でした。いま東京はチェーン店が増えてしまってコミュニティが崩れてきています。そういう状況で、コンビニ敬語のようなあっさりした敬語が望まれているのかも知れないと思いますが、イヤですね。

若い人は常に新しい言葉遣いを始めます。「〇〇のほう」や「大丈夫」が流行っています。ファミレスで「お水のほう、大丈夫ですか？」足しましょうか？という意味だと思いますが、「お水はよろしいですか」が正しいです。若い人たちは失礼だと思ってやっているわけではありませんので、心根は受けとてあげなければいけないと思っています。

## A I の発達で 幸せになれますか？

平均寿命が90歳になりました。友人の谷川俊太郎さんは今85歳です。「もう5年で死ぬんだ」「いいですね」と話しています。

す。今の若者はまだこれから何十年と生きていかなければならぬので大変です。

A I (人工頭脳)によって生活が変わっているからです。

病院に行くと、予約時間の1時間前には行き検査してもらい、検査結果が出てからお医者様に診てもらうことになるのですが、最近のお医者様は聴診器をもたず、データばかり見てコンピュータが診断したものを感じるだけです。

コンピュータが発達すると医者は要りません。そういう世の中がすぐそこです。便利になると思われていますが、もっと大切なことで困ることになるのではないでしょうか。お医者様や教師は失業、それで便利になっていますか？ 幸せになっていますか？

昔は名古屋での仕事は泊まりでしたが、今は鹿児島や札幌の仕事も日帰りでできます。それでいいですか？ かえって辛くなっていますか？

労働には頭脳労働、肉体労働、そして3番目の労働として感情労働があるそうです。



人にウソの感情を与える労働です。お客様が来たら、本心は悲しくてもニコニコして報酬をもらうのです。

ほとんどのサービス業はそうです。だからサービス業は疲れています。それはコンピュータやAIでは代わらない労働です。これからは臨床医師は要らなくなると思いますが、看護師さんは居て欲しいです。口ボットに「今朝の具合はいかがですか?」と聞かれるのはイヤです。癒し、優しさ、柔らかさは人間のものです。

資本主義社会の結果がAIで、それが果たして我々を幸せにしているのか。我々の言葉はまだAIでできません。簡単な言葉はできますが、例えば文学的な言葉、古い言葉は翻訳することも創り出すこともできません。

そろそろ、もっと違う価値を探す時期にきているのではないかと思います。

#### 大器免成

90歳まで生きなければいけないとして、その退屈をどうやって埋めるか。そのときにいいのは古典や漢文です。僕はいま漢文に凝っています。

「大器晚成」はよく言われます。書物『老子』に書いてあるのですが、実は「大器晚成」ではなく「大器免成」です。

『老子』は紀元前300年くらいにできた本です。古いお墓が発見されて、その墓か出てきた本に「大器免成」と書いてあったので、これが正しいのではないかと議論中です。あまりにも大きな器なので、完成することがないという意味です。

葛飾北斎は88歳で亡くなりますが、「あと5年生きていたら絵が上手になるのに」と言って死んだそうです。

ルネサンスの頃の天才のミケランジェロも88歳でミラノで死ぬのですが、最後まで未完成の彫刻を持ち歩いていたそうです。ミラノに残っている未完成の彫刻は「ロンダニーニのピエタ」で

すが、世界すべての彫刻が滅びてもこのひとつが残っていればいいだろうと言われるほど素晴らしいものです。ピエタ像はバチカンにもあり、それも素晴らしいですが、僕はミラノのほうがいいと思います。未完成なのだけれど、飛んで行くような不思議な彫刻です。

「免成」なんですね。人間は死ぬまで勉強なのだということだと思います。それを紀元前300年(今から約2400年前)くらいの中国の人人が言るのはすごい気がします。人間は少しも進歩していないのではないかと思います。

#### 古典や漢文に親しもう

その頃の中国の莊子が書いた本に「井の中の蛙 大海を知らず」という言葉があります。お前は世間を知らないということです。

ところが続きがあるのです。それは莊子が書いてないのですが、誰が書いたのか、「されど、空の青さを知る」だそうです。素敵だと思いませんか。僕らは

井の中の蛙なんです。自分の身の周りのことしかわからない。でも井の中の蛙であっても空の青さ(雄大さ)は知っているのです。志はわかっている。それを価値として生きていくのがいいのだろうということです。とても深い知恵があるように思います。

松尾芭蕉は平泉に旅行に行き、「夏草や兵(つわもの)どもの夢の跡」という俳句をつくりました「平泉で源義経と藤原一族との戦いののち、人が全ていなくなつて夏草が茂るだけである。人の世の中は移り変わる、無常である」と詠っていますが、この俳句は唐の時代の詩人杜甫の詩「國破れて山河あり 城春にして草木深し」に基づいています。

「唐の都では貴族たちが華や

かな暮らしをしていたのだけれど国が破れて山河だけが残った。城の跡には草木が茂っているよ」という詩です。

芭蕉は、「人の世の中はすべて変わった。山河は残ったというけれど、実は山河も残っていない。山河でさえ変わる」と言うのです。

大津波のときに私たちは経験しましたが、山河さえも変わります。芭蕉は、山河も人も変わったけれど、たったひとつ変わらないものがある。それは言葉だと言うのです。杜甫が書いた「國破れて山河……」の詩が、私たちのところに残っているのです。腐りもしないし、カビも生えず、サビもなく、その言葉がそのまま私たちに渡されている。つまり2000年前の知恵を僕らは知っているのです。

これから、どんな時代になっていくかわからない。AIなどによって、私たちの生活はどんどん変化していきます。そういう時代でも、2000年前の言葉、知恵が私たちのすぐ側にあるのです。そういうものが身近にあるのです。

若い時は、古典は苦手でも、この歳になるとわかります。樂しめるはずです。これを機会に言葉について知っておいていただけるといいと思います。

※この記事は平成29年11月7日(火)の講演の要約です。

文責／公益社団法人 名古屋西法人会

